

## 平成 27 年度 土曜科学教室について

### 1 開催概要

各回の募集人数と、それに対する応募者数の一覧は次の通りである。各回で応募人数が定員を上回ったため、厳正に抽選を行い、参加者の決定をした。

	実施日	対象学年	実施機関	募集人数	応募者
第 1 回	6 月 13 日	5, 6 年生	電力中央研究所	30 人	67
第 2 回	7 月 11 日	5, 6 年生	株式会社ナリカ	30 人	58
第 3 回	9 月 12 日	3, 4 年生	株式会社ナリカ	30 人	128
第 4 回	10 月 10 日	3, 4 年生	株式会社ナリカ	30 人	35
第 5 回	12 月 12 日	3, 4 年生	電力中央研究所	30 人	141
第 6 回	1 月 23 日	5, 6 年生	海洋研究開発機構	30 人	45

※毎回の募集ではなく、2 回を一度に募集する形とした。

### 2 成果

児童が自身で行う実験・観察を通し、科学に対する興味・関心を高めるとともに、意欲的な学習につなげ、学力の向上を図るといふねらいで、年間 6 回実施した。

参加児童にとつたアンケートには、次のような内容が書かれており、主催者の意図した成果が得られたと捉えられる。

- ・発電の仕組みがわかった
- ・電力は簡単にできると思っていたけど、全然簡単ではなかった
- ・電気が生活のいろいろなところで使われているとわかった
- ・空気には力があってすごいと思った
- ・空気について興味をもったことはなかったけど、空気についてもっと知りたくなった
- ・海底火山やプレートのことなど色々な事が分かった
- ・地球の内部の作りや（大陸移動の）仕組みが分かった
- ・長い年月をかけた潮の流れのこと、水が温度によって重さが違うことなどにビックリした

### 補足

保護者に会場への送迎をお願いし、自由に参観できるようにしたところ、予想以上に参観者が多く、感想も肯定的なものが多かった。

保護者の啓発および家庭における理科教育の推進の一助になっていると考えられる。